

2020年 6月9日 Q&A

アミール・ツアルファティ&バリー・スタグナー

- 聖書預言の質問を中心に -

<https://youtu.be/T6J2Ouib03A>

[マイク牧師] このQ&Aをすることにワクワクしています。すぐにお祈りをしますが、いろいろな質問をしていきます。いくつか来ています。皆さんの中には、最近の出来事を見て、特に米国では、暴動や暴力、不法行為に関連した質問があると思いますが、先日、不法に関して、「大いなる背教」の教えを公開しています。ですから、今日は実際に、聖書の質問や預言の質問を受けて行きます。皆さんの中には、現在の世界的な状況に関連した質問をすでに送ってくださった人もいます。ということで、今日は、これらの質問も歓迎します。ですから、皆さんで質問の内容を吟味してください。もうすでに届き始めています。ではお祈りして、すぐに始めましょう。

主よ、今すぐ私たちに知恵をお与えください。今日、このフォーラムにいる時間をとってくれた、すべての人に感謝します。私たちの心の中に、主イエスにおいて確信が持てるように、生産的で明確なものとなるように祈ります。もしこれを見ている人で、あなたを主、救い主としていない人がいればどうか、聖霊によって、その人の心であなたの御業がなされるように、お願いします。そして、あなたのみことばと、時を明らかにしてください。イエスの御名によって、アーメン。アーメン。アーメン。

さて皆さん、アシュリーが直球で質問して来てくれました。この質問は、アミールに投げかけたいのですが、

Q：「あなたが言っていた併合の件は、もし当てはまるとすれば、それはどのように預言に当てはまるのでしょうか？」

[アミール] まず第一に、一般的に、ユダヤ人の土地への帰還は預言的なものであり、主なる神は、大預言書と小預言書を通して、そのことを約束されました。その大部分はエゼキエル書36章と37章にあります。そのため、38章と39章も間もなく起ころうとしていると我々は考えています。それで、まずユダヤ人が自分たちの土地に戻ってきて、そしてもちろんエルサレムが、自分たちの手中にあるということも一つで、そして、ほら、イスラエルの土地の一部を持つことは、聖書に反することではありません。イスラエルの聖書の土地、ユダヤ人の祖先の故郷が、イスラエル国家に属するものとして宣言されたのです。ですから、とても聖書的です。何の問題もないと思います。実際、今日、サウジアラビアの記者のインタビューを見ましたが、彼はこう言っていました。「イスラエルは併合を進めるべきだと思う。パレスチナ人には、必要なものを手に入れるチャンスがあったのに、彼らが台無しにしてしまったのだ。彼らは、すべてのチャンスを逸したのであって、私たちはイスラエルが主権者であるという、こんにちの現実の中で生きていかなければならない。何があってもイスラエルが主権者です。」

最近のアラブ諸国は、この紛争全体でイスラエルを支持しています。単に、彼らのイランとの戦いにおいて、イスラエルが重要ですから。だから、今は物事が変わっています。その上、ホワイトハウスには、最もイスラエルに友好的な大統領がいます。つまり、1948年のハリー・トルーマン以来です。だから私は、今こそ、それを行う時で、また、とても象徴的だと思います。本気で考えれば、誰の生活も変わらないと思いますが、イスラエル人は、誰一人として、家を追われる事はなく、パレスチナ人も、誰一人、家を追われる事はありません。パレスチナ人の村を、イスラエルの村だと、宣言しているわけではありません。つまり、宣言しているのは、いずれにしても我々が管理している領域で、私たちはイスラエルの領土だと宣言した

けです。それは意味論です。しかし、それは私たちにとって重要なことです。それは、ついに、国の東側の境界線を確定させるからです。ですから、非常に聖書的です。それは、我々の土地に戻って来たことは非常に預言的です。それから思い出してください。昨日のアップデートでも触れましたが、コロナと暴動が生み出した良いことの一つは世界中のユダヤ人の、イスラエルへの移住に対する信じられないほどの関心の高さです。アメリカ、オーストラリア、フランス、ドイツなどから25万人以上の依頼を受けています。ですから、彼らは、どこかに住まなくてはならないのです。そして、イスラエルが、ついに国境線を形成して、現場で事実を設置する事は、重要だと思います。ホワイトハウスにそのような友人がいる限り、そして彼が、自由世界のリーダーである限り。

[マイク牧師] そうですね。つまり、これは私たちがすでに預言的に知っていたことの、自然な成就で聖書が、イスラエル人やユダヤ人が、自分たちの土地を占領すると予測していました。非常にシンプルです。

[アミール] 聖書には、パレスチナ国家はありません。認めましょう。ペリシテ人の国とは別物です。それはパレスチナではありません。パレスチナは、紀元2世紀の発明品で、それだけです。

[マイク牧師] バリー牧師、カリフォルニアの牧師として、このテーマを与えられました。多くの人が、これを政治問題にしようとしているのは知っています。そして、あなたは、あなたの聖書預言における立ち位置から、多くの矢を受けてきたと確信しています。あなたが、あまりにも政治的であると不当に非難している人たちがいます。この併合について、あなたの立場はどのようなか、また、あなたの仲間内ではどのように対処していますか？

[バリー牧師] いいえ、マイク。皆がとても支持、称賛してくれています。ネガティブな事を受けたことはありません（笑）。冗談だよ（笑）

[マイク牧師] もちろん、そうですね、特にカリフォルニアにいるとね（笑）

[バリー牧師] アミールが言ったように、ある種の暗黙の何かがあると思います。事実、この地域は、“ユダヤとサマリヤ”の旗の下で言及されていますし、そして、こんにちの西岸地区と呼ばれる地域でさえも、ユダヤ人にとっては、聖書的な故郷です。そして、クリスチャンの私たちにとっては、イスラエルを支持する事は重要です。なぜなら、これはイスラエルの実の祖国であり、エルサレムは、イスラエルの永遠の首都で、聖句を丹念に研究すれば、それ以外の結論は出ません。特に、ゼカリヤやエゼキエルのような箇所や、預言者たちが書いた、終末の時の地理や、神が与えたこの地への、イスラエルの帰還についての記述を見てください。だから、アミールが言っていたように、これは土地の帰還と、再生の一部に過ぎないと思います。ここ数日で使用された媒体のいくつかを考えると、預言的なシナリオと、いわゆる時間軸を押し進めるために、そのきっかけとなるような出来事が世界中で起きているのが、興味深いと思います。暴動やその他、現在起こっているすべての事、それに、COVID-19パンデミックやその他。アミールが言っていたように、今、人々が言っているのです。「そろそろ帰る時かも知れない。」そして繰り返しますが、これは聖書が予測、預言したことです。私たちは、本当に百年以上も前から、それが成就するのを目の当たりにしてきた事が、具体的に、この数日の間にこの大プッシュが起こっています。それは、すべてのものが加速し、我々が終わりに近づいていることを、思い出させます。だからこそ、イエスは、世界中のユダヤ人のイスラエルへの帰還アリヤー（帰還民）も含めて、産みの苦しみのような進行を語ったのだと思います。

[マイク牧師] 皆さん、面白いですね。イスラム教徒でさえ、イエスに立ち返り、救われているのを知っています。しかも、彼らは、聖書を読み始めてすぐに、全く同じ結論に至っているのです。おふたりとも、上手く説明してくれましたが、土地は預言の成就であり、ユダヤ人はその成就のために故郷に帰らなければならない、と。イスラム系のアラブ人が、キリスト教になっているのです。いわゆる、真実の酸性テストのようなものですね。

今日の2つ目の質問は、センデナムからです。名前の発音が間違っていたらごめんなさい、サイドナム、センデナム？これは、皆さんに是非とも取り組んでいただきたい、誰もが気になる質問の一つです。

Q：「メディアの真のアジェンダは何だと思いますか？人種戦争、分裂、などなど？」アミール？

【アミール】 トランプ氏を置き換える事。非常に単純です。彼らは、以前からそうしようと企んでいたし、トランプが初当選しないように、必死に戦っていました。トランプが当選したとき、彼らはショックを受け、その後、彼らは最初の週、すでに街頭にアンティファを送り込んでいました。それは、うまくいきませんでした。それからロシアの共謀罪を持ち出したが、うまくいきませんでした。その後、彼らはウクライナとの癒着を持ってきましたが、それもうまくいきませんでした。そして、弾劾を試みたが、それもうまくいきませんでした。その後、武漢のどこかで、アメリカの経済を崩壊させるためにウイルスが放出されましたが、それもうまくいきませんでした。今日のナスダックを見ていると、それを実感しますが、過去最高値を記録しました。それで、残りは何でしょうか？「何でもかんでも利用して、大げさに吹っ飛ばして文脈から外して、新しい戦争、旧・新戦争を起こそう。」ところで、アメリカの黒人コミュニティを見ていると、とても悲しい気持ちになります。4年ごとに、同じ悪人に利用されているのです。4年に一度、同じことをしています。そして、そういった無実の人たちは…ある程度は…中には無実の人もいます。ほら、私は、無実で誠実な抗議があったと信じています。多くの人たちの為に…ジョージ・フロイドが、殺された時の映像を見ると怒りがこみ上げて来ます。それは間違いありません。しかし、私たちが見ていたのは、腐敗した悪徳警官だけでした。アメリカの組織的な人種差別は見えていません。そして実際、アメリカでは黒人よりも、非武装の白人の方が警察に殺されています。そして、その両方を足した数よりも、アメリカで殺された警察の数の方が多いのです。つまり、トランプを排除することが目的であることは間違いありません。

さて、皆さんは思っているでしょう。「なぜトランプを取り除くのですか？」それは、いい質問かもしれませんがね。言っておきますが、トランプが推進しているのは…このように言ってみましょうか。彼はキリスト教を助け、イスラエルを助け、胎児の権利を助けています。つまり、彼は重要なことのために戦っていて、経済を回復させて、悪事を働く者の正体を暴いているのです。トランプは彼らの正体を暴き、彼らが間違っていることを証明し、彼らの本当の目的を見せています。そして、トランプは、彼らが一番手を出し難い人物です。彼は、彼らの手口を全部知っていますから。彼は、彼らのトリックを知っています。この人が、メディアやソーシャルメディアの人なのはご存じでしょう？彼は、誰からもお金を必要とせず、実際、彼は自分の給料を寄付しています。彼を買収することは出来ません。ですから私が言いたいのは、神のもの、義のものはすべて…さて、私が今これを言うのはおかしいですが、民主党に比べれば、トランプは文字通り聖人です。つまり、この人のことは、みんな知っていますが、今起こっている事全てを見ていて、そして、彼を取り巻く人々を、私は個人的に知っていて、彼が大切にしていることを、よく知っています。言っておきますが、間違いなく、悪の勢力が、ここで価値のあることをしている、神を止めようとしているのです。そして、ほら、これがどこに向かうのかは私たち全員が知っています。しかし、我々は、アメリカが少なくとも、あと4年は一息付けるようにそして、狂気、不法、革新派の考え方が占領しないようにと祈ります。なぜなら、ほら、皆さん思い出してください。エルサレムは、イスラエルの首都であると宣言され、そして、大使館が移転したのは、全て、トランプ大統領のおかげです。ゴラン高原は、ドナルド・トランプがイスラエル領だと宣言しました。ドナルド・トランプが、イラン協定を取りやめました。イスラエルの入植地である、ユダヤとサマリアの入植地でさえ、ドナルド・トランプのおかげで違法ではなくなりました。だから、ホワイトハウスの中の人物とそのアイデンティティは、イラン、ロシア、トルコ、そしてもちろんイスラエルとの中東で起こっている、すべてのことに大きな影響を与えます。だから、どうなるか見てみましょう。個人的には平和になるように、正義になるように、そのすべてを祈ります。でも、それが起こらなかったとしても、私は完全には驚きません。今のトレンド、全ての行く方向性を見ると、表面上は間違いなく、間違いなく、反トランプで、水面下では神に反逆し、反キリストです。

【マイク牧師】 ええ。「不法の霊」という言葉が頭に浮かんできます。新約聖書は、ずっと前から告げていました。「欺瞞」や「妄想」がずっと起こり、教会が取り去られたとたんに、大爆発する。なぜなら、聖霊

の力が、この悪をすべて引き止めているからです。しかし、私たちは見えています。バリー、私たちはロサンゼルスを見えています。つまり、不法の霊はすでに働いています。私は、震源地のミネアポリスにいます。そして、ロサンゼルスではまだ、大規模な事件が起きています。バリー、これと預言との関連性、新約聖書では何と告げているか、少し教えてください。

【バリー牧師】 まあ、私が思うに、オリブ山^{おっしや}の垂訓の導入部でイエスは、これらの領域で争いが起こることを明確にされました。そして、イエスは仰いました。

「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり…」（マタイ24:7）

そしてそれは、重複した内容ではなく、二つの異なるギリシャ語の言葉が、それぞれの発言に使われています。「国（Kingdom）」とは、政治制度を意味していて、国は別の国と対立することになります。しかし、「民族（Nation）」という言葉は「 $\epsilon\theta\nu\omicron\varsigma$ 」であり「民族」という言葉の語源です。ですから、終わりの日には民族間の緊張が広がります。それは、悪魔の勢力が、物事を操作し、全てを反神、反イスラエルを支持する方向に物事を進めます。私にとって、ものすごく興味深いと思うのは、こういう、イスラエルやユダヤ人とは全く関係のないことが、国内だけでなく世界各地で、反ユダヤ主義が台頭する原因となっています。そして間違いなく、これは米国を、これまでとは正反対の方向に向かわせます。アメリカでは、これまでに見たこともないような政府の統制レベルになるでしょう。米国では、長い間、国民のための政府システムであると宣言されて来ました。それが今、私たちが生まれて以来、あるいは国家誕生以来私たちが知り、愛し、経験してきたものをすべて取り除く方向に向かっています。そして、それらは基本的に、引き続き、反キリストと彼の世界的な権力への台頭のための基礎を作るものへと置き換えられます。だから、本当に善対悪の戦いを見ているんですね。私たちが最近ずっと目にしている事は、ここ南カリフォルニアでも、暴動や抗議が続いていて、非暴力的なものもあれば、略奪や、そのような性質のものに移行するものもあり、しかし、すべての背後には霊的な源があり、それは預言的なものです。そして、それは、イエスが終わりの日に起こることとして、最初に述べたことの一つです。ですから、これらに、私たちは驚くべきではなく、我々が、期待すべき事です。それでも、私たち、特にキリスト教徒として覚えておくべき重要なことの一つは、こういった暗黒の日々にも、福音にはまだ力があり、神のみことばには、まだ、権威があるということです。私たちには、まだ使命があるのです。

「捕らえられて殺されようとする者を救い出し、虐殺されようとする貧困者を助け出せ。」

これは箴言24:11-12に書かれた、新約聖書の大宣教命令のための旧約聖書の土台だと思います。だからマイク、私たちは、教会が与えられた道を進み続ける必要があります。

「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。」（マルコ16:15）

それには時代も、状況も、紛争も問題ではありません。こんにち、私たちの世界が必要としている答えはイエスであり、それだけです。

【マイク牧師】 ええ、おふたりの簡潔で明確な答えが好きですよ。不法が増し、そして、その時、教会を通じて引き止めている者が取り除かれる事を、私たちは知っています。（テサロニケ第二2:7参照）想像に過ぎませんが、信者が政治から取り除かれ、教育システム、金融システム、社会から取り除かれると…まさに、純粋な不法の働きが、コロラド川のダムのように解き放たれるのを想像できますか？とにかく、皆さんに懇願します。もしあなたがイエスを知らないなら、今すぐ知ってください。これで魂を賭けてはいけません。時代ははっきりしていて、それが物語っています。ウィリアムはこの質問を書いています。

Q：「“御怒り前”の見解を持っている人には、どのように対応すればよいのでしょうか。」また、「携挙のタイミングについて、他の見解を持つ人々にどのように応答しますか」

アミール？

[アミール] はい。まず第一に、私の知る限りでは、彼が「御怒り前」と言ったとき、彼が言っているのは、「大患難前」とは違うものです。なぜなら、大患難の後半が「御怒り」だと思っている人がいて、従って、私が間違っていなければ、これは患難中期説（患難中携挙説）です。どう対応すればいいのか？とてもシンプルです。ヘブライ語の聖書に行って、「怒り」という言葉が、その半分だけではなく、7年全体に属することを知しましょう。聖書が、ダニエル書で憤怒の後半について語る時、ヘブライ語で「憤怒」とは「怒り」のことで、「רוח」ですから、ヘブライ語的には、ダニエル書の70週にあたる7年間、最後の1週間全体が神の御怒りであり、その半分だけではありません。第二に、私はいつも言っていますが、大患難は、教会が経験するよう意図されていません。なぜなら、ダニエルが70週について語ったとき、これらは、イスラエルとエルサレムに関して受けたもので、教会に関してではありません。つまり、69週は、すべてイスラエルに関する事で、70週目、7年間の全体がイスラエルのことで、教会は69週目と70週目の間の、その隙間にいるのです。それ以上のものではありません。もちろん、誰も、その日その時を知らないということも忘れてはいけません。もし、「大患難中期」と言うのなら、その日が分かります。聖書は、大患難の年数、月数、週数、日数を正確に伝えていきますから。だから、明らかに、正確な時間が分かります。ほら、二人の証人が1260日そこにおいて、その後、エルサレムは異邦人の足で42ヶ月間踏みめにじられます。（黙示録11:2~3参照）つまり、これら一つ一つは、全て、聖書の暦で3年半です。だから、患難中期とか患難後期と言うなら、携挙がいつ起こるかが、はっきり分かります。本当に携挙の緊迫性がまだ有効である唯一の立場は、大患難前です。そして、それはもちろん、テサロニケ第一5章や、その他すべての聖句と一致しています。テサロニケ第一1章だけでなく、黙示録3章にもあると思います。これら全てが告げています。私たちは、神の御怒りに会うように定められておらず、全世界に来ようとしている試練の時から取り除かれ、守られる。だから、とにかく聖句にこだわってください。ヘブライ語の「憤り」の意味にこだわってください。そして、覚えていてください。そもそも、ダニエルが7年について語った時、それは教会に関するものではなく、すべては、イスラエルに関するものでした。それが全体像です。ということで、私は、その質問にはそう答えます。

[マイク牧師] そうですね。補足しますと、反キリストが現れて、イスラエルと和平協定を結んだ場合、文字通り、その日と時間をビデオに撮ることができます。そうすれば、理論的に言えば、簡単に計算できるのです。文字通り、日にちと時間、時間帯まで。

[アミール] マイク、アルタクセルクセスが、神殿とエルサレムの再建命令を送った日が分かります。そして私たちは、まさに、ダニエルが受け取った日数を、正確に知っています。まさに、メシアが来ると言われていた時、イエスがエルサレムに入られ、油そそがれた者は断たれました。ですから、ご覧ください。毎回、聖書が日数、週数、月数、年数を告げる時、聖書はとても正確です。携挙とは、聖書によると、それがいつ起こるのか、その日、その時を、誰も知らない。従って、準備をしておくべきなのです。ですから、常に準備をしておきましょう。ということで…正直に認めましょうよ。もし私が中期説、または後期説を信じているなら、私は準備をする必要はなく、私がすべき事はただ、反キリストが起こるのを待ち、和平交渉を待ち、そして、そこから3年半後にタイマーをセットすればいいのです。それでは、この考え方全体に、つじつまが合いません。基本的には、それが私の考え方です。そして、繰り返しますが、これは、携挙に関して、最も聖書的な観点だと思います。

[マイク牧師] さてバリー牧師、多くの人が数えて、言います。「ちょっと待ってください！大患難の時代にも信者がいるのを見かけますよ。ほら、これが、患難の前に携挙が起こらないことを証明しています。」それについてのコメントと、なぜこれら他の見解が説得力がないのかについても、コメントしていただけますか？

[バリー牧師] まず、時代によって聖徒がいるということを確認する必要があると思います。また、神が働かれた歴史の期間を「ディスペンセーション」という表現を好む人たちもいます。明らかに、神の革新的な

啓示が人に知らされていく中で、アブラハムは、ある程度の理解力を持っていましたし、その後、モーセの時には、さらに多くのことが理解され、それから、預言者たちと、彼らが記した未来に関する事へと続き、そして最後に、イエスが私たちに語っておられます。

「神は、むかし父祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られました…」(ヘブル1:1)

しかし、また、私たちは、認識しなければなりません。こんにち、私たちは、これら、ほかの立場から多くの議論がされるのを目撃していますが、アミールが言ったように、全期間が「御怒り」です。しかし、私たちはまた、理解する必要があります。神の御怒りは、いつも雷や火に現れるわけではありません。太陽が暗くなったり、月や何か、患難期間に起こる太陽が人の体を焦がすといった、そういう事だけでなく、しかし、そんな中で、主がイザヤに言われたことを、私は考えていました。私は、それを、私たちが今生きている時代となぞらえます。なぜなら、イスラエルの民が偶像礼拝に転じていて、裁きの形で、主が彼らに言われた事の一つは、イザヤ3:4で、主は、仰っています。

「わたしは、若い者たちを彼らの君主とし、気まぐれ者に彼らを治めさせる。」(イザヤ3:4)

これは、明らかに文字通りの意味ではなく、たとえです。要するに主は、彼らに無関係で、統治する立場にふさわしくない指導者を送り込もうとしていたのです。そして、イザヤは続けてこう言います。

「民は互に相虐げ、人はおのおのその隣を虐げ、若い者は老いたる者にむかって高ぶり、卑しい者は尊いものに向かって高ぶる。その時、人はその父の家で、兄弟を捕まえて言う。『あなたは外套をもっている、私たちのつかさびとになって…』」(イザヤ3:5-6a 口語訳)

つまり、「あなたが私たちの面倒を見るのなら、あなたが私たちの支配者です。」そして、主はこの神の裁きとして、実際に導くことができない指導者たちを送り込むと述べています。つまり、このことが何を意味するかというと、大患難期、私たちが最初に目にするのは、最初の封印が破られた時に、黙示録の4人の騎士が世界のシーンに出てくると、白馬に乗った騎士は弓を持ち、それは契約の象徴で、彼は、世界に見せかけの平和の時代をもたらします。しかし、この時代、他に何も起こらないからといって、あるいは、その特定の行為が、神の御怒りではないとはいえません。神は、この男を送り出し、彼が力を得ることを許可されます。まず第一に、教会を介する聖霊の拘束力を取り除くことを必要としているのですから、したがって、期間全体が神の御怒りです。たとえ、それが私たちの考える神の御怒り、もしくは、火や硫黄といった、破壊的な神の御怒りに見えなかったとしても、やはり、神の御怒りです。この契約でさえ、反キリストが、7年間の結ぶと主が言われるのです。そういう意味では、「御怒り前(携拳説)」は「大患難前(携拳説)」を意味していますね。

【アミール】思い出してください、マイク、テサロニケ第二の2章で、バリー牧師が、上手く説明してくれましたが、テサロニケ第二の2章で、反キリストの台頭について、私たちは聞いています。そして反キリストの台頭の瞬間から、神が、強い感わし、妄想を送られるとあります。つまり、反キリストが興る時には、すでに、裁きと御怒りが始まっているということです。なぜなら、私たちは、ここから出て行くのです。神がノアやロトにしたことを考えてみましょう。なぜ、神は、私たちに関係のない裁きのために、私たちを、ここに置いていかれるのでしょうか？過ぎ越しの祭りを覚えていますか？私たちは、過ぎこされるのです。私たちの心の門柱には、イエスの血が塗られていますから。私たちには別の裁きの席があり、それはキリストのさばきの座です。(第二コリント5:10参照) 天界では、全く違う現実があります。そして、最後につけ加えてもいいですか？イエスご自身が、ヨハネ14章で言われています。

「あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。もしなかったら、あなたがたに言うておいたでしょう。」(ヨハネ14:2b) それから、主は言われます。「…また来て、あなたがたをわたしのところに迎えます。わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。」(3節)

イエスは、私たちが半殺しにしてから、連れて行きたいではありません。「患難の半分を経験してはどうだい？」いいえ。ローマ人への手紙8章にある「肉体の贖い」というのは、私たちが、その前に、その外に救われるということで、私たちは、そのような経験をする必要はありません。またしても、その理屈が分かりません。さて、バリー牧師が言ったことは非常に重要です。多くの人が、大患難時代の聖徒たちを、私たちだと勘違いしています。いいえ、私たちは、大患難時代の聖徒たちではありません。私たちは、聖徒です。私たちは教会、私たちはキリストの花嫁です。患難時代の聖徒たちは、必ずしも花嫁ではありません。旧約聖書の聖徒たちは、必ずしも花嫁ではありません。イスラエルは…、キリストが、私たちと一緒に帰って来るとき、イスラエルは、必ずしも花嫁ではありません。そして、私たち全員が千年王国に行くのです。しかし、キリストの花嫁とは、忠実なものであり、患難の前に連れて行かれるものです。

[マイク牧師] はい。皆さん、お気づきかどうか分かりませんが、教会と教会の人々は、社会のあらゆるレベル、あらゆる国、あらゆる言語環境にいて、深刻な影響力を持つ地位にいます。想像してみてください。教会が消えれば、クリスチャンの将軍や政治家が消えるのです。想像してください。金融の専門家たち、全ての教師、インフラを作っている人たち、高速道路や脇道を作っている人たちを想像してみてください。そのレベルで文化に影響を与える、神の霊の影響力を取り除けば、残るのは、大規模な警察への資金提供の停止です。こんな、完全な不法地帯しか残りません。それが、第二テサロニケ2章が呼びかけていることです。その時の信者たち、もし、あなたが患難期間中に信者になれば、多くのユダヤ人が、その時、信じるようになりますが、彼らには影響力はありません。彼らは蚊帳の外、彼らは豚小屋にいるのです。

[アミール] 私は、ポンペオ国務長官のツイッターをフォローしていますが、彼には2つのアカウントがあって、1つは個人的なもの、もう1つは、国務長官としてのアカウントです。彼は、個人アカウントでは、毎週日曜日に聖書の箇所を投稿しています。彼は、毎週毎週、日曜日には聖書の箇所を投稿しています。ホワイトハウスの新しい広報担当者。彼女は新生し、霊に満たされた、熱い信者です。彼女は、自分の信仰を恥じていません。言っておきますが、バラク・フセイン・オバマ政権の8年とは大違い、スリック・ウィリー政権(ビル・クリントン)の8年とは大違いです。この政権は、多くの素晴らしい、善良な人々、神を愛し、キリストを信奉する人々で満ちています。驚くべきことです。だからもし今、携挙が起こったら、アメリカは即座に崩壊してしまいます。つまり、連邦政府は、もはや何も残らないでしょう。

[マイク牧師] 全くの無法地帯、そう、全くの無法地帯です。質問がどんどん入って来ていて、素晴らしいです。皆さん、ありがとうございます。全てにはお答え出来ないのですが、ここで、厳選しなければいけません。この質問は、明確にする価値があると思います。バリー牧師。

Q: 「裁きをめぐり抜けて千年王国に入る人たちは、死ぬのでしょうか？」

教会は携挙されていますから、栄光の体があることを知っています。しかし、再臨から千年王国に移行する人は、どんな体をしているのでしょうか。それにたどり着いた、いわゆる患難時代の聖徒たちは、千年王国ではどんな体をしているのでしょうか？

[バリー牧師] 患難時代を生き残る人たち？

[マイク牧師] はい。

[アミール] すみません。マイクが言っているのは患難時代の聖徒のことだと思うのですが、患難時代の聖徒は斬首ざんしゅされるのです。マイク、あなたが言っているのは、患難時代の聖徒のことですか、それとも、患難時代を生き抜いた人たちのことですか？患難時代の聖徒ではなくて？

[マイク牧師] 質問は、「生き残った者」です。キャシー... もし聞いているなら、これを明確にしてください。

[アミール] ゼカリヤ14章16章には、「民のうち、生き残った者はみな」と書かれています。だから、これらは患難時代の聖徒ではありません。これは別の条件です。バリー牧師ごめんなさい。でもはっきりさせておきたかったです。

[マイク牧師] 彼女が使っている言葉は、
「千年王国に移行する、地球上に残っている人たちは、朽ちる体なのか？」

[バリー牧師] ええ、羊と山羊とが分けられる事を私たちは知っています。それは、患難期にイスラエルをどう扱ったかが基準です。そして、外の闇に投げ込まれる人々がいることが分かっています。それから、患難時代に生まれてくる人たちがいて、彼らは千年王国の時代、栄光の体ではありません。彼らは、栄光の体ではありません。死が存在しますから。また、主が「鉄の杖で牧する」（黙示録2:27参照）という事は、まだ地上に罪があることを、示しています。仮庵の祭りを祝うために（エルサレムに）上らない人が出てくる事が分かっています。（ゼカリヤ書14:16~19参照）そして、彼らの不従順のために、彼らの領土に雨が降らなくなります。ですから、罪はまだ存在します。だから、そうですね、患難期間中には、死すべき人間が存在します。ある種、千年王国は、エデンのような状態に戻るのです。イザヤ書にあるように「百歳で死ぬ者は若かった」（イザヤ書65:20参照）これは単純に、寿命がノアの時代や、その前の、ノア以前の時代に戻るということです。ですから、地球上では、ある種の変化が起こります。しかし、私たちは罪が存在することを知っています。つまり、死すべき人間がいて、主が、エルサレムの第四神殿の玉座から彼らを支配され、また、教会が、主と共に支配するという事です。しかし、教会は栄光を受けた状態です。主のもとに戻って、栄光の体をいただくのです。そこで起こることに関して議論する人もいますが、しかしユダヤ人信者となる3分の1のユダヤ人は、自分たちが刺し貫いた方を見て、そして、彼らの目はメシアに開かれ、先祖が重大な誤りを犯したことを認識します。マシヤッハ・ベン・ダビデが誰であったか、誰であるか、それがイエスであった事を認識し、そして、彼らは栄光を受けるでしょう。そして、その期間に瞬時に移行して、主と共に統治し、治めることができると、私は信じています。

[マイク牧師] 興味深い質問ですね。アミール、千年王国では世の中どうなってると思いますか？そして、朽ちる体の人たちは、どう機能するのですか？

[アミール] まず、全員“ミレニアル世代”になることは間違いありません（笑）。

[マイク牧師] それは良い！これは面白い！（笑）

[アミール] 私が言えることは・・・と、ところで、『千年王国』<https://youtu.be/ty-lZldf1Vc> というメッセージをYouTubeで見ることができます。ともかく、彼らは明らかに朽ちる体を持ち、アップグレードされた地球を、楽しむことになると思います。認めましょう。サタンとその手下が底なしの穴に閉じ込められるのです。地球は、はるかに良いものになるでしょう。自然、生態系に関して、地球上の生命がはるかに良くなる事が分かっています。それはまだ、新しい天と新しい地球ではありませんが、神がすべてのものを新しいものにする前に、現在の地球から得られる最高のものです。凄いことになると思いますよ。ほら、私たちは、いつもイエスが戻って来て欲しい、イエスと一緒にいたいと思っています。主は私たちと一緒にいてください。つまり、携挙が行われた瞬間から、聖書によると、「こうして私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。」ですから、私たちは携挙の瞬間から、ずっと主とともにいることとなります。私たちが天国で主と一緒にいる間も、主の再臨には、私たちは主とともに帰り、主の治世には、千年の間、私たちは主とともに君臨します。そしてもちろん、新エルサレムと新しい天と地、その全て。ということで、素敵なおこととなります！

正直に言うと、皆さん言うておきますが、あなたの今日の決断が、基本的には、大患難と、もちろん千年王国に関して、明日のあなたの立場を決めるのです。今日、イエスを拒絶するならば、明日を見ることすらな

いかかもしれません。今日、イエスを受け入れるならば、明日は、イエスとともに君臨します。私たちは、ただ、キリストと一緒に帰ってくるだけではなく、私たちは、知事として戻ってきます。裁判官として戻ってきます。指導者の立場に戻ってきます。それを理解しておくことが大切です。ほら、見てください。誰もがこの世界で何かになりたいと思っています。誰もが、この世界で何か、意味のあることをしたいと思っています。ソーシャルメディア上では、みんな自撮りをしています。なぜなら、今では彼らがモデルだからです。今の時代、誰もが見られたいと思っています。神は、私たちに差し出しておられるのです。どうして断ることができるでしょうか？今、すべての理解を超えた平和を持つこと、千年王国の千年間には、永遠に政府の地位を。イエスは裁判長であり、総督で主君、そして、私たちは、主ともにいるのですよ！ほら、それはとても素晴らしいことになります！

【マイク牧師】 はい、この話題はちょっと楽しいですね。次の質問は、バリー・スタグナー知事にします。もうすぐ知事になります（笑）前に進みますが、バリー牧師、あなたはエゼキエルの戦いを本当によく研究されています。あなたの教えを、複数お聞きしました。こんなフレーズがあります。「彼らは7年間武器を燃やす」（エゼキエル書39:9参照）

Q：「それは文字通りの弓矢ですか？それとも現代兵器の^ひ喩^ゆですか？」

【バリー牧師】 それについては、様々な意見がありますが、私が興味をそそられるのは、旧式の武器のようなものが言及されている点です。馬や騎手、盾になるもの、丸盾、そして戦いは地上戦のようになる、という意味合いが含まれているように見えます。歩兵や騎兵、そういったものがある。しかし、7年間の武器の燃焼について一つ言えることは、一部の人が言うように、核兵器の有効期限は7年で、その間は燃えるということ、または、これは、まさにそのままの意味で、これらの武器を山のように積み上げて、7年間燃やし続けるのだと言う人たちもいます。そして、私たちにとって覚えておくべき大切なことは、聖書には、時として比喩的な記述があり、そして、それは必ずしも、一部の人が主張するように“日付印”を押すようなものではありません。どうして、千年王国時代に武器を燃やすのでしょうか？だから、ある特定の時点でなければダメなのです。そして、「7」は完全数であることを考えても、そういった性質のものだとか、いろいろな認識や解釈があるんです。しかし、要するに、実際の兵器を燃料として燃やす事を言っているのかそういう意味合いの事を言っているのか、誰も本当には分かっていないと思うのです。つまり、こんにち我々が使っている室内冷暖房という意味合いで見るとそれは、必要になるのか？ですから、かなりの確率でそれは、比喩的な表現で、これらのものが完全に破壊され、武器やそういったものは、おそらく、平和なものに変えられ、そして燃える炉は、より平和的なものになるでしょう。しかし、個人的には、それが何を意味するのかについて独断的な立場を取ることが出来ません。なぜなら、時間枠というか、長さが与えられている以外、他の事は明確ではありませんから。しかし、だからといって、それが起こるべき時期の“日付印”が押されるわけではありません。だから、遠回しに言えば「私には分からない」だから、「なるようになれ。」繰り返しますが、それについては何も言えませんから。

【マイク牧師】 そうですね。使徒ヨハネが黙示録を書いた時にも、彼は、記述語を使わなければならなかったのです。「そして私は…のようなものを見た…」とか「これはまるで…のような」とか。そして彼らは、彼らが見た幻に言葉を失っていました。彼らには、実際に見たものを説明するための文脈や、言葉が、全くなかったのです。このように、預言的なジャンルには、比喩の余地がたくさんあることがわかります。そして、未来のアプリケーションを記述するために、当時のデバイスの使用しているのです。アミール、うなずいているようですが、何か付け加えることはないですか？

【アミール】 いや、この話題はもう長くなってしまったので、別の質問に移ってもいいと思います。

【マイク牧師】 よし、では、ここに1つ。ところで、リンゼイさん、質問ありがとうございます。質問をしてくれた人には、功績を認めたいと思います。ブレンダからの質問です。「聖霊が取り去られるという事は…」『引き止めるもの』私たちはちょうど、それについて話していました。

Q：「大患難の間に信者になった人たちの内に聖霊は宿るのでしょうか？」

【アミール】なるほど、聖霊の能力は、旧約聖書でも常にあったと思います。ダビデ王自身が祈ったことを知っています。

「聖なる御霊を 私から取り去らないでください。」（詩篇51:11b）

サウルでさえ、聖霊が臨み、そして離れた事を知っています。彼のもとを去りました。ですから、教会がなくても、聖霊がこの世に存在することは間違いありません。明らかに、以前からありました。しかし大きな違いは、教会が生まれた時、聖霊は、実際に、聖霊が信者の中に封印されました。聖霊に導かれた、強力な集団として。それは、神がなさっている新しいことでした。それは個別の体験だけではなく、集団としての体験でした。それは、はるかに大きなものだったのです。それに対して、新約聖書では…、すみません、患難時代には、再び、一人一人が信仰に至る個人の経験になります。一つ確かなことは、聖霊が宿っていなければ、誰もイエス・キリストを信じることはできません。だから、患難の間に信仰を持つ人がいるなら、聖霊がそこにいないとは、一瞬たりとも言えません。だから、その事がすでに、その時聖霊がある理由です。しかし、繰り返しますが、私が主張したいのは、まさに、旧約聖書の時と同様、神がイスラエルを扱われた時に、聖霊がイスラエルと共にいたように、神が再びイスラエルを扱われる患難時代にも聖霊はその様になります。教会時代のゲームチェンジ的な聖霊の臨在は、私たちがここを出た時になくなります。そして、一つ覚えておくべき事は、マイク、私たちは世の光であり、私たちは地の塩であり、引き止める者です。患難期間中の信者たちは、そうではありません。彼らは引きとめる者ではありません。覚えていますか？聖徒、イエスを信じて信仰を持つようになる人は、聖霊が彼らに内住します。しかし、それは彼らが信仰を保つ形で守られますが、彼らには、引き止める者となるレベルの拘束力はありません。引き止める者は、もう取り除かれていますから。そして、まさにそれこそが、反キリストが現れて、彼の舞台を采配できる理由です。ですから、聖霊が教会に与えた驚くべき資質の多くは、患難時代に信者となった人の中に内住したり、彼らの一部となる事はないと、私は見えています。しかし、患難の時に聖霊がいないとは、一瞬たりとも思っただけではありません。なぜなら、聖霊が内に入る事なくイエス・キリストを信じることは、誰にもできませんから。

【マイク牧師】そうですね。それが今の教会の役割であり、私たちは文化に関わっています。私たちは、神の霊によって文化を形成し、成形し、抑制する力さえ持っています。つまり、多くの自然災害に対応するのは教会です。多くの不正に対応しているのは教会です。また、それぞれの立場で多くの法案を作っているのは教会で、それが全て消えてしまうのです。バリー牧師、これは本当に難しい質問です。

Q：「患難時代に入って、誰かが妒や圧力のために信仰に入ることを選んだ場合、特にイスラエルでは、その時に、神の御霊は、その人の人生において、どのような役割を果たすのでしょうか？」

【バリー牧師】イエスはヨハネ14章で、第一の聖霊の働きとは、この世に罪を確信させることだと、おっしゃいました。そして、聖書は、大患難期間には、数えきれないほどの数の人々が、あらゆる部族、言語、国、民族から、患難期の聖徒となり、神のみことば、イエスの証しのために死ぬと私たちに教えています。つまり、イエスが語られた方法で聖霊が動いているということです。どの時代においても、人々を罪の確信に導くことができます。アミールが言ったように、教会時代には特別なものがあって、「証印」という面では、将来の相続を保証します。しかし、教会の、引き止める力が取り去られたからといって、聖霊が、地球上に存在して活動することがなくなるわけではありません。物事は、旧約聖書のような状態に戻るでしょう。聖霊は働き、彼は導き、指導します。そして明らかにイエスがおっしゃったように、そして先ほど申し上げたように、聖霊は、おもなミニストリーを遂行します。聖霊は、人々に罪を確信させ、罪を告白してキリストに立ち返らせ、すると、主は誠実で公正な方ですから、彼らの罪を赦し、すべての不義から清めてくださいます。だから、聖霊はまだ動いているでしょう。それは、おそらくよく出てくる「大患難」についての質問

の中でも、最もよくあるものの一つで、私たちは、理解する必要があると思います。アミールが言ったように、聖霊の働き、説得し、引き寄せ、呼び寄せる働きがなければ、誰も主のもとには来ないのです。私たちはみな羊のようにさまよい、おのおの、自分かってな道に向かって行きましたから。しかし、それでも聖霊は、ご自身の第一のミニストリーにとどまり、患難の間も、人々をイエスに導きます。イエスが再臨される時に、ユダヤ人が大勢イエスに回心する事が分かっています。今でさえ、イスラエルでは聖霊が動いていると思います。物事が好転しているのを目にしてい、そして、世界中のユダヤ人は、アミールが最初に言ったように、先祖代々の土地に帰るよう、故郷に引き寄せられています。神は、ゼカリヤ書や他の箇所で見られる目的のために、彼らを、そこに連れて来ておられます。彼らが、自分たちが突き刺した方を見て嘆き、悔い改め、主を救い主として知る為に。つまり、神は遍在しているので、地表から取り除かれる事はありません。主はいつも、どこにでもいます。

【マイク牧師】 はい。皆さん全員に言いたいことがあります。イエスは、今ここで手が届きます。あなたも、今すぐに祈って、今、主との関係を持ち、主の体である教会の一員になれるのです。私が非信者だったら、これを後回しにしないでしょ。なぜなら、大患難時代の聖徒であることは、こんな言い方はしたくありませんが、皆さん、文字通りの言葉が出てきますよね。文字通り、地上の地獄絵図のようです。

【アミール】 絶対に、絶対にそうですよ！

【マイク牧師】 つまり、殺されて、斬首されてまさに不法地帯になるのですから。都会の不法地帯を見て、そこでは、人々をどう扱っているのかをごらんください。世界中どこでも、そうなることを想像してみてください。自分が信者であると言ったら…、想像したくもありません。私には狂気の沙汰です。さて、楽しくて簡単なものをご紹介します。これです。

Q：「ビホールド・イスラエルのツアーは、いつ再開しますか？」

ジェニファーさん、ありがとうございます。ジェニファー、できるだけ早くイスラエルに行って欲しいですね。がんばります。11月のツアーを計画中です。9月を目指して、9月の始まりを目指しています。努力しています。アミール、あなたはこれを、10万年前からやって来ましたが、ガイドのアミールにとっては、前代未聞の時代ですね？

【アミール】 イスラエル国家の歴史上、観光客が一人もいない状況になったことは、一度もありません。戦争中でも…独立戦争、六日戦争、ヨム・キプール戦争、レバノン戦争、レバノンでの作戦、ガザでの作戦…我々は決して、決して、決して、決して、これまでに、ホテルがすべて空っぽになったことは、ありません。そして、ツアーガイドもバスの運転手も働いていない。何もありません。イスラエルには観光客が一人もいなくて、とても閑散としています。イスラエルは、イスラエルのパスポートを持っていない人が来るのを、許可していません。また、イスラエルのパスポートを持っていても、家を出る前に2週間の自宅隔離をしなければなりません。私が言いたいのは、現時点ではCOVID-19のせいで不可能です。それらの制限が解除された時点で、ここを訪れる人の出発国の問題となり、緑の国（グリーンゾーン国/新型コロナウイルス感染症の抑制に成功した国）からの訪問であれば…。つまり、既に脱出戦略をとって、成功している国からの訪問であれば大丈夫です。しかし、そうでない国からの人は、2週間の自己隔離が必要になります。10日分のツアーにお金を払って、イスラエルに来て、そして空港から連れて行かれて、2週間自己隔離されたい人は、一人もいないでしょう。だから繰り返しますが、私たちは祈って、願っています。私たちは信じています。10月のツアーも、そして11月にはツアーだけでなく、エルサレムでの「Awaiting His Return conference」も出来る事を。だからバリー牧師、マイク牧師と…。バリー牧師、あなたはそこでの講師の一人です。マイク牧師、あなたは舞台裏にいますね。私が間違っていなければ、すべての準備をしています。また、イスラエルからも素晴らしい講師が来ます。最高の礼拝、イスラエル人の礼拝が行われますので、一日も早くその日が来るように祈り、願っています。しかし、それまではインターネットを通じて従事します。バリー牧師やマイクと力を合わせて、オンラインで質問に答えられることをとても嬉しく思っています。これらは、何十万人もの人々に見られています。私たちは、覚えておかなければなりません。COVID-19は、福音が広がる

のを止められず、真理と義に対する、人々の飢え渴きを止められませんでした。栄光は神にあります。もし私の夢を言えば、このフォーラムにいる一人一人、皆さんの友人の一人一人が、我々のBehold Israelアプリをダウンロードしてください。私たちのオンライン活動のすべての情報があります。私たちがライブを行う時には通知が届き、私たちの学びとツアーのすべてが、リストアップされています。私たちのウェブサイトも素晴らしいですよ。BeholdIsrael.org しかし、あのアプリは本当に強力なツールです。Googleとアップルストアで、手に入れることができます。バリー牧師、あと4分しかありませんので、大急ぎで行きます。これは本当に話題の転換ですが、よく聞かれることです。

Q：「イスラエルの失われた部族はどこにあるのでしょうか？」

バリー牧師？ そして、「現在のイスラエルにはどの部族がいますか？」

[バリー牧師] 全部族です。彼らの誰一人として、失われていません。それが最短の答えです。

[マイク牧師] ええ、サンディが質問したんです。この質問はサンディからです。彼女は素晴らしい質問をしています。アミール、イスラエルの最後の部族はモルモン教会ですか？

[アミール] いや、それは…。ハリウッドの通りで見つけれられます。私たちは彼らに会いましたよね、マイク？

[マイク牧師] そうそう。

[アミール] 良いですか、聞いてください、私が信じるに、そこにいるのは、おもにユダ族とそして、レビ人、コーエン氏たちが故国に戻っています。しかし、神はダンやマナセ部族の人々を連れ戻しておられます。つまり、インドやエチオピアなどの離散地からユダヤ人が戻ってくるのを見ますが、これは、ユダの部族ではありません。これらは他の部族の人たちで、アジアやアフリカの他の場所にも、他の部族がいます。いいですか。私たちが千年王国に到達する頃にはエゼキエル書によると、土地が再び部族に分割されることが分かっています。全員が帰ってきます。彼らは、自分がどの部族に属するか知っています。バリーが言ったように、どれも失われていません。

[マイク牧師] ええ。そうですね。私はジョークのつもりでモルモン教徒と言ったのですが、知らない人のために、末日聖徒教会は実際、彼らは自分たちが失われた第十部族だと信じていて、もちろんそれは完全に間違いです。私は冗談のつもりだったのですが、それを真に受けた人もいるかもしれないので、それだけは言っておきます。バリー最後に締め言葉はありますか？あと2分で1時間です。

[バリー牧師] ええ、マイク、前にあなたが言っていたように、患難の期間についてと、決断を先延ばしにしている人たちへ。その時、世界が見たこともないような時代になります。そして、イエスは、もし彼が戻ってきて止めなければ、人間は一人も生き残れないと言われました。そして、患難の期間中、信者、キリストに信仰を置く人々の身に起こることを見れば、チャック・スミス牧師が、いつも、よく言っていたと思います。あなたが今、主のために生きられないならば、なぜ、その時、あなたが主のために死ぬと思うのですか？今日は救いの日、今こそ、キリストを主であり救い主として受け入れる時です。私はいつも、教会に、何となく皮肉を込めて言います。「大患難を飛ばすよう、強くお勧めします。」そして、ただ、たちまち、一瞬のうちに、主と永遠にともにいられますように。だから、混乱している場合ではありません。事態は今までにないほどエスカレートしています。そしてそれらは本当に、預言的にすべてをカバーし、まさに「エンジン全開」です。その事が、私たちは準備を整え、大いなる神であり私たちの救い主である、キリスト・イエスの栄光ある現れを期待するよう告げています。そして、あなたの人生、魂、永遠の運命をイエスに捧げるには、今ほどのチャンスは、他にありません。マイク、一つ、覚えておくべき重要な事は、聞いてください。もし私たちが、永遠の運命を主に信頼することができるならば、私たちは、確かに、今日という日を、主に信頼することができます。だから、これは一番大切な決断です。彼が救世主であると決意する。イエスこそが、聖書で神が差し出された唯一の救い^{あずか}です。そして、主のみもとにまだ立ち返っていない人は誰でも、今すぐ来て、今日、救いに与ってください。

【アミール】 マイク、今、ガリラヤにユダヤ人がいて、アメリカ人がその反対側にいて、我々が聖書の話をしているという事実自体、私の祖父母には、想像もつかなかった事です。我々にはその技術があり、そして、ユダヤ人は故国に戻ってきました。そしてご覧ください。私たちは滅びない世代です。時間を無駄にしないで。

【マイク牧師】 ああ、時間といえば、もう時間切れです。そして、皆さん全員に、今、^{こた}応えるチャンスを与えたいと思います。バリー牧師に、お祈りで締めくくっていただきたいと思います。バリー、今すぐにも罪を清め、イエスを心の中にお迎えする準備ができている人たちを、導いていただけますか？それから、すでに信者である私たち全員のための、一般的なお祈りで締めくくっていただけますか？

【バリー牧師】 もちろん。オンラインでご覧になっている方は、頭を下げて目を閉じてください。これは、神の前での敬意の表れです。思い出してください。主は、魂を救うために、この世に来られました。イエスは、私たちがまだ不信心で罪人である時に来られ、私たちのために死んでくださいました。聖書は告げています。

「主は天から人の子らを見おろして、神を尋ね求める、悟りのある者がいるかどうかをご覧ください。
…善を行う者はいない。ひとりもない。」（詩篇14:2-3）

つまり、私たちには、救い主が必要だということです。あなたの罪の大小は関係ありません。事実、聖書によると、一点でも過ちを犯せば、神の律法を完全に犯して有罪で、救い主が必要です。そして神は、他でもなく救世主としてご自分の御子をこの世に送り、血を流されたのです。罪の負債を支払う唯一の方法は、レビ記17:11によると、「血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはないのです。」だから、彼は、あなたのために死んだのです。あなたが清められ、あなたの罪が赦されるように。あなたを和解させ、神との正しい関係に戻すために。その方法は一つしかありません。それはキリストを、主であり、救い主として受け入れることによってです。ヨハネの手紙第一1:9には、こうあります。

「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、不義からきよめてくださいます。」（第1ヨハネ1:9）

「告白」とは、同じように見る、もしくは同じように話すという意味です。そして、その意味するところは、単純にこれです。自分の墮落した状態について、神に同意し、そして、キリストが、この世界の救い主であることに同意するなら、主は、あなたを赦し、そして神は、その義をあなたに与え、あなたが新しく生まれて、神とともに、永遠に生きるようにしてくださいます。だから、もしあなたがその決断をしていないなら、ただ、この祈りを心の中で唱えてください。あなたが、誠心誠意それを言うなら、主は、あなたを救うことを約束されています。その後の人生は確実に変わりますよ。こう言ってください。

「主イエス様、私は自分が罪人であることを認めます。あなたが、世界で唯一の救世主だと信じます。私のために死んでくださったほど、私を愛してくださっていることに感謝しています。私の人生を気にかけてくださり、将来の相続の保証として、あなたの魂を与えてくださったことに、感謝します。私の魂をあなたに捧げ、私の人生をあなたに捧げます。毎日あなたに捧げ、あなたのために生きてゆきます。イエス様の御名と信仰によってこれを行います。アーメン。」

父なる神様、世界中の信者のために祈ります。彼らは夢にも思わなかったことを経験しています。主よ、私たちが栄冠に目を向け、感情や心を抑え、あなたが与えてくださった召しを思い出せるよう助けてください。世界に出て行き、すべての被造物に福音を説くことを。あなたは私たちを孤児にせず、このような時の為に、あなたの御霊を与え、私たちを強くしてくださり、感謝します。

神よ、ビホールド・イスラエルのために祈ります。どうかこの素晴らしいツアーの扉を開き、人々が、ずっと前から読んで来た場所を訪れ、生きた聖書が見れますように。神よ。世界中の教会のために祈ります。私たちが立ち上がって妥協せず、社会正義の福音に陥らないように。私たちは、最後の日に真実を宣べ伝え、愛をもってそれを語れますように。主よ、あなたのあわれみと恵みと、必要な時には助けを、イエスの御名によって感謝します。アーメン。

【マイク牧師】 アーメン、アーメン。

【アミール】 強力ですね。

【マイク牧師】 アミール、締めくくる前に何かアナウンスはありますか？

【アミール】 BeholdIsrael.org のウェブサイトから、ニュースレターを登録することをお勧めします。ソーシャルメディアで私たちをフォローしてください。BeholdIsrael。バリー、ソーシャルメディアを教えてくださいませんか？あなたのウェブサイトと、ソーシャルメディアをお願いします。

【バリー牧師】 教会のウェブサイトは CCTustin.org です。そこには、あらゆる教えを用意しています。または、YouTubeページ、私の名前か、もしくは「The Truth About God」です。もちろんツイッターでは、私の名前、BarryStagner。インスタグラムでも同じです。そこでもフォローしてください。

【アミール】 Facebookもですね。はい、良かった。素晴らしい。あなたにお会いでき、そしてこの最後の時代に、あなたと手を組む事が出来て、超光栄です。バリー牧師。お時間をとってくださって、ありがとうございます。マイク牧師、司会をしてくれてありがとうございます。お二人には、お別れにシャロームと言います。そして皆さんにお伝えします。インドからのフォロワーのために、特別Q&Aを行います。イスラエル時間の、今週土曜日の午後12時です。インドのフォロワーの皆さんは、ご準備をお願いします。これまで南アフリカ、イギリス、フィリピンで行いました。今回はインドです。他にもいろいろなことを投稿しています。それから、Zoomでの祈祷会も開始します。世界中から誰でもご参加いただけます。同様に…それについて祈って来たのですが、私たちが信じるに、若年層の年齢、たとえば16歳～26、28歳までの、この年齢層は、現在、サタンにとって大きなターゲットであり、彼らの思想を混乱させて洗脳し、それら全ての場所で、国内のテロリストになるように送り込まれています。そこで、世界中のユースや若者のミーティングをZoomで開催したいと考えています。日付をお伝えします。毎週、決まった日になります。もしあなたが、その年齢層であるか、もしくは、その年齢層の人を知っているならぜひ参加して、質問したり、課題や祈りを語っていただきたいと思います。私たちは、機会を広げたいと思っています。今、一番必要なのは祈りです。そして、その年齢層のニーズに応えることは、超必須だと思います。皆さんのお祈りに感謝し、このミニストリーへの、皆さんのサポートに感謝します。Weloveyou!感謝します。神の祝福がありますように！

イスラエル、ガリラヤより、シャローム！

さようなら。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.06.28 (Sun)